

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2022年度 パフォーマンス向上会議情報(2023年1月4日(水)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2023年1月4日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	【6号機残留熱除去海水系ポンプ(C)モーター冷却水配管ストレーナー出入口弁のフランジからのにじみについて】 当社運転員が、残留熱除去海水系ポンプ(C)の運転時に、モーター冷却水配管ストレーナー入口弁、出口弁のフランジからのにじみを確認。 そのため当該ポンプを停止し、にじみが停止したことを確認。 当該弁フランジのにじみは軽微であり、当該ポンプの運転に影響は無い。 今後、当該弁のフランジ部の点検手入れを実施予定。	GⅢ	12月26日
2	【6号機残留熱除去海水系ポンプ(A)モーター冷却水配管ストレーナーのフランジからのにじみについて】 当社運転員が、残留熱除去海水系ポンプ(A)の運転時に、モーター冷却水配管ストレーナーのフランジからのにじみを確認。 そのため当該ポンプを停止し、にじみが停止したことを確認。 当該ストレーナフランジのにじみは軽微であり、当該ポンプの運転に影響は無い。 今後、当該ストレーナのフランジ部の点検手入れを実施予定。	GⅢ	12月26日
3	【6号機計装用空気圧縮機(B)冷却水配管の弁のシート漏えいについて】 協力企業作業員が、点検のため計装用空気圧縮機(B)を停止し、冷却水配管を隔離し、水抜きを実施したところ、冷却水の水抜きが完了しないことを確認。 隔離のため全閉した弁のいずれかがシート漏えいしていると判断。 なお、当該圧縮機使用時において、当該弁は開で使用するため系統運転に問題なし。 今後、当該弁を点検、修理予定。	GⅢ	12月26日